

第26回 工業教育全国研究大会 開催要項 (案)

- 1 主催 日本工業教育経営研究会・日本工業技術教育学会
- 2 主管 日本工業教育経営研究会関東支部
- 3 後援 文部科学省、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会
[申請中] (公益社)全国工業高等学校長協会、東京都産業教育振興会、東京都工業高等学校長会
- 4 期日 平成28年7月16日(土)～7月17日(日)
- 5 会場 拓殖大学文京キャンパス E館709教室
〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14
最寄り駅：地下鉄 丸ノ内線「茗荷谷駅」下車 徒歩3分
- 6 主題 「我が国の技術を支える工業教育の推進」
- 7 日程 第1日 7月16日(土) 11:00～12:00 理事会
12:30～13:00 受付
13:00～14:10 開会式、総会
14:20～15:00 講演Ⅰ
15:10～15:50 講話
16:00～16:40 講演Ⅱ
17:30～19:30 教育懇談会
第2日 7月17日(日) 9:30～12:30 研究協議 (各分科会)
各分科会で閉会式

8 講演・講話

- 講演Ⅰ 「有機ELの現状と将来展望(仮題)」
元パナソニック電工株式会社 先行技術開発研究所 技監 菺田 卓哉 様
- 講話 「今後の工業教育について(仮題)」
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官 持田 雄一 様
- 講演Ⅱ 「企業が求める人材像」
元日本電子株式会社 人事部長 木村 勝浩 様

9 研究協議

第1分科会 (学会論文)

- 1 「高等学校における多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」
～工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価方法の調査研究～
高木永幸 (愛知・刈谷工)
- 2 「工業教育と生徒指導」 朝倉一隆 (広島・福山工)
- 3 「工業高校の将来を拓く教育課程の在り方」 中村豊久 (学会・副会長)
- 4 「工業高校生の学習場面におけるつまずきの研究」 島田和典 (大分大学)

第2分科会 (学会論文)

- 1 「都情研での取組みについて」 渡辺博之 (東京・蔵前工)
- 2 「志の教育 (仮題)」 瀬崎宣利 (広島・元広島工)
- 3 「教育課程の研究指定校事業について」 熊切義文 (神奈川・磯子工)
- 4 「ものづくり教室を題材とした環境・エネルギー教育の実践」 松田拓未 (京都市・洛陽工)

第3分科会 (工業教育の活性化)

- 1 「あついぞ!熊谷 レゴロボットの魅力」 三枝英明 (埼玉・熊谷工)
- 2 「PIC マイコン制御とその応用」～実習用マイコンロボットの製作からシグナル制御実習に至るまで～
永板勝弘 (愛知・佐織工)
- 3 「次代を担う子どもたちに3Dプリンタを贈ろう!」
～山形県における「ものづくり教育」ムーブメント～ 斎藤秀志 (山形・教育センター)
- 4 「工業高校と連携した教員養成の改善について」 巽 公一 (拓殖大学)

第4分科会 (課題研究)

- 1 「教育活動を通じた地域社会への積極的な参画について」 小野博通 (北海道・滝川工)
- 2 「チーム工業 学科連携のものづくりの成果と教育的効果について」 根守 潤 (秋田・由利工)
- 3 「愛知総合工科高等学校建設現場における建築施工の研究」 鈴木節也 (愛知・愛知総合工)
- 4 「課題研究におけるマイコンカー&コース製作の取組」 豊嶋義隆 (大阪・佐野工科)

第5分科会 (個性化・特色化教育)

- 1 「ひまわりの絆」～ゼロから始まった地域交流～ 谷 欣也 (愛知・名南工)
- 2 「これまでのSSHの取り組みと大学進学について」 仲道嘉夫 (東工大附属)
- 3 「スーパーサイエンスハイスクールの取組」 廣瀬公一部 (東京・科学技術)
- 4 「フィリピン生徒海外研修で育む新しい時代の人材育成」 草刈廣直 (千葉・市川工)

- 10 会費 参加費3,000円 資料費3,000円 教育懇談会費5,000円
- 11 宿泊 各自申込
- 12 申込期限 平成28年7月1日(金)
- 13 申込方法 申込用紙は下記事務局に送付してください。大会会費は同封の振込用紙を使って、次の口座へ振り込んでください。

ゆうちょ銀行振替口座番号 00130-2-755590
加入者名 日本工業教育経営研究会

- 14 事務局 日本工業教育経営研究会 事務局長 石板 政俊
〒230-0016 横浜市鶴見区東寺尾台 19-2-A-305 電話・TEL 045-575-3828